

# しんじょう市議会だより

No.131  
2016.2.10

平成27年度一般会計は5億2,785万6千円を追加し、

総額

162億847万2千円に決定

本会議の審議から

平成27年度新庄市議会定例会（12月定例会）は、12月4日から15日までの12日間の会期で開かれました。さて、12月定例会に市長から出された主な案件は、

- ① 新庄市体育館耐震補強工事の内建築工事請負契約の締結について
  - ② 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
  - ③ 義務教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の設置について
  - ④ 新庄市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定についてなど18件
  - ⑤ 平成27年度新庄市一般会計補正予算など6件
- が提出され合計で27件でした。慎重審議の結果、原案のとおり、1件了承、1件同意、25件可決をしました。一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれに5億2,785万6千円を追加し、総額162億847万2千円となりました。

一般会計補正予算

本会議に歳入歳出それぞれ5億2,785万6千円が追加計上されました。補正内容の主なものは次のとおりです。

総務費

- ◎ ふるさと納税の増加に伴う事業費増のための経費増額。
- ◎ 看護師養成機関研究調査のための委託料を計上。

民生費

- ◎ 子ども・子育て支援新制度開始に伴う増額。

衛生費

- ◎ 高齢者インフルエンザ予防接種の個人負担軽減の経費の計上。

土木費

- ◎ 「雪と暮らしを考える連絡協議会」からの答申に基づいた雪対策に特化したわかりやすい情報提供を図るためのホームページ開設経費及び、除排雪相談窓口対応の人件費の計上、効果的な除雪作業にむけた除雪作業経費の増額。

教育費

- ◎ 新庄市体育館耐震補強工事の完了に伴い、平成28年2月からの使用開始に向けた指定管理委託料の増額。
- ◎ 山屋セミナーハウスの入浴施設の利便性・快適性の向上と、市民の健康増進に資するための調査委託料。

Q 地方創生先行型の交付金をどのように活用するの？

A

- ・ 市民の健康維持に対する意識を高め、健康で住み続けることができる地域づくり
  - ・ インターンシップ（職場体験学習）のためのデータベースや啓発ポスターの作成
  - ・ ご当地キャラクター「かむてん」によるまちづくり
  - ・ スクールバスや路線バスの利用者の負担軽減措置
  - ・ ユネスコ無形文化遺産登録に向けた「新庄まつりシンポジウム」の開催
- の5項目を行います。

最終日に審査を行った結果、賛成多数により可決しました。

## 12月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
<b>【市長提出】</b>			
報告	第17号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	了承
諮問	第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案	第67号	新庄市体育館耐震補強工事の内建築工事請負契約の締結について（平成27年議案第45号）の一部変更について	可決
	第68号	新庄市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について（平成26年議案第44号）の一部変更について	可決
	第69号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例の設定について	可決
	第70号	新庄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の設定について	可決
	第71号	新庄市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第72号	新庄市市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第73号	義務教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	可決
	第74号	新庄市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第75号	新庄市立図書館の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決

第76号	新庄市民プラザの管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
第77号	新庄市体育館等の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
第78号	新庄・最上さくらが丘斎苑の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
第79号	新庄市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第80号	財産の無償譲渡について	可決
第81号	新庄市萩野児童センターの管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
第82号	新庄市升形児童館の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
第83号	新庄市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第84号	新庄市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第85号	平成27年度新庄市一般会計補正予算（第3号）	可決
第86号	平成27年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
第87号	平成27年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
第88号	平成27年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
第89号	平成27年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決
第90号	財産の処分について	可決
第91号	平成27年度新庄市一般会計補正予算（第4号）	可決

## 議案に対する議員の賛否

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。  
○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会派名	起新の会			市民・公明クラブ			穆清会			絆の会			会派に属さない議員			採決結果		
		佐藤義一	石川正志	小嶋富弥	小野周一	山科正仁	佐藤卓也	高橋富美子	下山准一	小関淳	遠藤敏信	奥山省三	森儀一	今田浩徳	清水清秋	新田道尋		佐藤悦子	叶内恵子
議案第70号	新庄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第72号	新庄市市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第75号	新庄市立図書館の管理を行わせる指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第76号	新庄市民プラザの管理を行わせる指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第77号	新庄市体育館等の管理を行わせる指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第78号	新庄・最上さくらが丘斎苑の管理を行わせる指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第79号	新庄市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第83号	新庄市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	●	可決
議案第84号	新庄市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第91号	平成27年度新庄市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-	○	○	○	●	可決
請願第7号	米価暴落対策を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	-	●	○	○	不採択
請願第8号	TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	-	●	○	○	不採択

※議長は採決に参加しません。

※原案のとおり採決することについての賛否を諮っています。（新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則）

## 請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
米価暴落対策を求める請願	山形県新庄市大字昭和621 田宮 俊夫	星川 豊	不採択
TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願	山形県新庄市大字昭和621 田宮 俊夫	小関 淳	不採択

12月4日の定例会開会日に同意された委員を紹介いたします。  
**人権擁護委員**  
新庄市若葉町10番13号 長沢 淳子  
新庄市東谷地11番地 沼澤 洋子

人事案件

## 一般質問

一般質問は、12月7日と8日の2日間、10名の議員が行いました。

質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

### 12月定例会一般質問の質問者と質問事項

#### 奥 山 省 三

1. 奥羽金沢温泉について
2. 旧泉田橋の撤去について
3. 人口減少社会における市政運営について

#### 佐 藤 義 一

1. 教育体制の今後について
2. 移住者（希望者も含む）対策について

#### 山 科 正 仁

1. 県立新庄病院移転改築について
2. 看護師養成機関の設置について
3. 小中一貫校萩野学園の開校後および萩野学区内の諸問題について
4. 住民の要望・意見事項への対応について
5. 定住自立圏構想の中心市としてのモラル向上について

#### 叶 内 恵 子

1. 新庄サイクルスポーツセンターについて
2. スポーツイベントを通しての地域活性化について
3. まちなか活性化策について

#### 小 関 淳

1. 安心して暮らせる防犯灯の増設について
2. 命を守る医療体制づくりについて
3. 利用者の立場に立った図書館の実現について

#### 石 川 正 志

1. 雪総合対策費の財政出動を行う時期について
2. 地域活性化・地域住生活等緊急支援交付金について
3. 市民の暮らし方について
4. 嘱託職員の待遇改善について

#### 今 田 浩 徳

1. 新庄最上定住自立圏構想の推進について

#### 佐 藤 悦 子

1. 交通事故防止のために
2. 安心して介護を受けられるようにするために
3. 福祉灯油の制度化について
4. 新庄最上圏域の医療の在り方について
5. 野球場について

#### 小 嶋 富 弥

1. 学校教育について
2. 防災対策について

#### 遠 藤 敏 信

1. 山屋セミナーハウスは利用しやすい施設となっているか
2. 情報通信技術機器の教育分野での活用状況について

## とびっくす

### よりきめ細かい除雪体制構築を・・・!

市議会はこれまで年2回ずつ、計6回の議会報告会を開催してきました。その中で市民の方々から「もっと住民に優しい、除排雪が出来ないものか」といった要望意見が多数出されていました。そうした市民の皆様の声を受け市議会は「政策提言作成小委員会」を設け、精査・検討を重ねた結果、議会の総意として平成27年3月、「政策提言書」を市長に提出しました。

その中の一つに「雪対策の充実」を進言したところです。市では提言を受けて「新庄市雪と暮らしを考える連絡協議会」を立ち上げました。市民、国、県、建設業者、有識者で構成され、具体的には市民代表としての区長、民生委員、かもしかクラブ、ほか小中学校の教頭、専門的な学者、除雪に携わる業者、国・県の道路維持管理部門の担当者がメンバーとなりました。協議会では、

- ① 現行の雪対策支援制度の周知徹底と手続きの簡素化
- ② 共助による雪対策の推進
- ③ 道路除雪の出動基準の見直しと情報提供に充実
- ④ 流雪溝の利用におけるルールの確立と周知徹底
- ⑤ 高齢者世帯の間口除雪における機械除雪の質の向上
- ⑥ 雪捨て場の確保
- ⑦ 空き家の雪処理問題

等について議論を重ね、きめ細かな雪対策を求める答申が出されました。市ではそれを受けて、より市民の立場に立った雪に強いまちづくりを進める体制づくりを図るよう検討を進めることになりました。

加えて、従来は国道、県道、市道に関する苦情等の問い合わせは、それぞれの部署でしたが、今シーズンからは市が一括して対応していくことになっています。

これからも、市議会は議会報告会等を通じて皆様から寄せていただく声を市制に反映し、市民生活の向上に努めていきたいと思えます。

## 奥羽金沢温泉について協議は！



奥 山 省 三 議員

◎温泉側と話し合いはその後どうなったのでしょうか。新聞で山屋セミナーハウスとの共同施設の在り方と報道されていましたが、今後はどのような形にされていくのですか。

**市長** 温泉の早期営業再開に向け整備計画や経営計画の提出をいただいたうえで協議を提案いたしました。提案がない状態での営業休止が続いておりました。再開を望む市民の声もあることから、源泉を所有する事業者に対し山屋セミナーハウスにおいて温泉を活用した入浴設備の機能強化の検討を提案しました。12月議会において検討する項目の基本調査委託を提案する予定でございます。

◎人口減少に伴って税収不足が生じてくる訳ですが、このままずっと不足分を市民の負担

の促進につながるような事業について検討し、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。また、「人口減少社会への対応」として、今後このまちで暮らし続けていただけるよう「雪への対応」、「健康維持活動の推進」、「安心して暮らし続ける地域づくりへの支援」の3つに取り組んでまいります。

**市長** 当市の人口減少については以前から大きな問題として取り上げられておりました。今後は、総合戦略において「人口減少の抑制」と「人口減少社会への対応」を柱として取り組んでまいります。「人口減少の抑制」については、特に本市に暮らす若年層の進学や就職を契機とした転出を抑制し、また、雇用の創出や子育て支援を重点化することで転入の促進につながるような事業について検討し、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。また、「人口減少社会への対応」として、今後このまちで暮らし続けていただけるよう「雪への対応」、「健康維持活動の推進」、「安心して暮らし続ける地域づくりへの支援」の3つに取り組んでまいります。

担増にしていけるのか。転換期になっていると思えますが考えをお聞きます。



## 小中一貫校教育の進め方と移住者への手当てを問う



佐 藤 義 一 議員

◎小中一貫校教育体制の確立には地域住民と保護者の理解の下、進めるべき。

**教育長** 明倫中学校区における小中一貫教育については、9月定例会や全員協議会において、沼田小学校の改築については明倫中学校区における小中一貫教育校として整備することを基本に進めていきたい旨の説明を行ったところであります。しかしながら保護者や地域住民に対する説明についてはまだ行っていない状況でありますので、今後は説明を十分に行い、理解や同意を得ながら進めてまいりたいと思っております。

◎移住者、また移住希望者への暖かい手当てを問う。

**市長** 移住促進施策として、市が事務局をしている最上地域雇用創造推進協議会では、

最上地域へ首都圏等からU・J・ターンし、就職や起業を支援することを目的としたポータルサイトを今年度中に立ち上げる準備を進めています。さらに市では住居に関する情報提供の手段として空き家バンクについても年度内の開始を目指しております。今後の取り組みとしては、県や周辺町村とも連携し、雇用や住まいなどの受皿に関する総合的な環境整備を進め移住者の希望の実現を目指していくほか、移住後のフォローアップについても研究してまいります。また、ポータルサイトなどを見て相談をする人が増えると予測されることから、サイトの管理者に情報を集約し、ワンストップで必要な情報提供ができるような体制の整備を進めていきたいと考えております。



## 最上の医療と児童生徒のより良い環境創りのために



山科正仁 議員

◎看護師養成機関設置への定住自立圏財政支援の充当についての実効性（他町村との協調・協議）と養成される看護師の雇用形態（身分保障）の県との協議はどうしていくのか。

**市長** 看護師養成機関の設置につきましては、近隣7町村と連携し推進する考えで、各町村長との協議においてこの方向性を確認しています。事務の推進体制、諸課題の整理施設整備並びに開学に向けた計画策定、予算措置等に関しては、今回、補正予算に看護師養成機関設置に関する調査研究のための委託料を計上しています。この調査結果を踏まえて県、7町村関係機関と詳細を詰めてまいりたいと考えております。また、現職看護師の就労環境にしまして

は、各医療機関の個別の問題であると考えられます。その原因が看護師不足によるものであるならば、全体的な看護職場の環境改善につながるものと思います。また、看護師の就職先としては最上管内の医療機関、福祉関係施設を想定しています。

◎萩野学園開校後に生じた教室内部環境（夏季の高温対策）や施設面（技労用車両等）改善及び旧小学校（萩野・泉田）跡地有効利用の協議体制はどの様にしていくのか。

**教育長** 今年の萩野学園は周辺外構工事の影響もあり、窓を開くことが制限され暑い思いをしたと聞いています。今後は窓を開放し換気対策を行ったり、扇風機を回すなどの暑さ対策を施してまいります。施設面の維持管理は学園に配置しております技労員一名で行っており複数人で作業する場合は人材を派遣して対応しています。また、作業効率の向上を図るために市内の小中学校に配備している作業車両を2台から増やすよう検討してまいりたいと考えています。旧小学校の跡地利用については、今後地域の皆様と協議を重ねながら進めてまいります。



## 地域の伝統と文化を地域活性化に!!



叶内恵子 議員

◎「新庄サイクルスポーツセンター」の機能回復に向けた対応について伺います。

**教育長** 新庄サイクルスポーツセンターは新庄市体育協会が所有する県内唯一の自転車競技施設として選手たちの競技力向上に貢献してまいりましたが、東日本大震災により、走路が崩落したことにより、現在は施設の使用中止しています。走路の改修費用については、県や日本スポーツ振興センターの助成を活用するとしてもかなり大きなものとなります。また、走路だけでなく管理棟の改修や維持管理費のことを考えた場合、サイクルスポーツセンターの運営を市のみで支援していくことは難しいと考え、今後とも県などと協議を重ねてまいりたいと思っております。

**市長** 昨年と今年、あけぼの町飲食店街も含めた市内の飲食店を活性化させる目的で「新庄バル街」を開催し、参加者から好評を得ました。トイレにつきましても利用者の方々からさらなる利便性向上の要望がありますので、整備について検討してまいりたいと考えております。今後、飲食店街の皆様がイベント等をきっかけにして、活性化していただけるよう、関係機関と連携し、各種支援制度の情報提供と相談も含め、広く賑わいづくりの支援をしてまいります。また、あけぼの町を文化的な形として保存できればという思いがあり、文化財にふさわしいような整備方法はないか模索しているところでございます。

◎「あけぼの町飲食店街」活性化のための対策について伺います。



## 誰もが安心して定住できるまちに



小 関 淳 議員

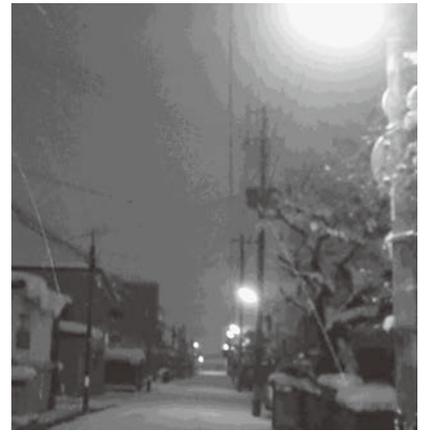
◎本来、2次医療を担う県立新庄病院では、夜間救急の約8割が、救急の不要な軽症患者だという。医師、看護師などの過重労働が深刻化する中、市ではどのようにして地域医療を守るのか。

**市長** 平成23年度に「私たちとお医者さんを守る最上の会」が発足し、時間外受診の適正化、勤務医の負担軽減化及び定着を目指し、市民活動を行っています。今後、更に高齢化が進む中、地域医療の基盤であるかかりつけ医の推進、健康診断を受けるなどの健康管理の推進、緊急電話相談の周知などの情報提供を行うなど、市民とともに状況を共有し、より適切な地域医療が構築できるよう取り組んでまいります。

◎防犯灯はあるものの、点灯

しない個所が多くある。暗所を無くすことは犯罪や交通事故の防止につながる。今後、夜の安全をどう確保するのか。

**市長** 市が費用を負担して新設を実施している防犯灯は、各区長から要望をいただいたあと、現地を確認のうえ、必要性の高い箇所から設置しています。また、平成26年度より通学路を中心に既設防犯灯のLED灯への更新事業を実施しております。LED灯への更新や費用の補助制度に関して多数の問合せ、要望をいただいておりますが、全体で3,800灯弱のうち従来式の防犯灯は3,400灯弱となっております。更新については要望に追いつかない状況となっております。このことから、既設防犯灯の更新と危険箇所への新設を速やかに実施するため、LED灯への更新・新設に対する補助制度を導入してまいります。



## 3世代同居、幼・老交流で幸せ感の実現を



石川正志 議員

◎家族の自助互助をすすめる「思いやりの心」を育むため、3世代同居を推進する施策を図っては如何か。

**市長** 三世代同居の促進については、増加する高齢者単世帯や共働き世帯の0歳児からの保育需要の高まりなど、少子高齢化対策の観点からも大変意義のあることと考えています。人が生活を営む一番小さなコミュニティは家族・家庭であり、同時に家族・家庭の繋がりが基本であり大切なものであると考えております。特に、三世代同居世帯については、家族間の支え合い、知恵や経験の継承など世代間で共助が期待されるとともに、乳幼児期の家庭教育において絆、繋がり大切さを親のみならず、身近に接する祖父母からも教えを受け



てより一層身につくことも考えられます。このことを子育て支援の根幹に据え、施策の研究・検討を図ってまいりたいと考えております。

◎行政一般職をはじめ特別職の給与が以前の水準に回復している事を踏まえ、嘱託職員の待遇改善をしては如何か。

**市長** 嘱託職員並びに日々雇用職員につきましては、今年度からの定員管理計画におきましても、嘱託職員や日々雇用職員の雇用を進め、より効果的な行政サービスの提供につなげていくこととしています。報酬・賃金につきましては、県内の自治体との均衡を図りながら改定しており、現在のところ県内13市と比較しても低い状況ではないと認識しておりますが、一般職の給与の動向を勘案し、その待遇を改善する方向で現在検討を進めております。

# 新庄最上定住自立圏構想の推進について



今田 浩徳 議員

◎定住自立圏形成協定に基づき連携事業開始に向けてのスケジューリングと圏域内の振興推進へのリーダーシップの意思表明についてお聞きします。

**市長** 昨年6月の協定締結後、圏域の目指す将来像や具体的取り組みを定める「定住自立圏共生ビジョン」の策定に向けた協議を進めており、その作業において「共生ビジョン懇談会」を開催し、意見をいただいているところです。今後は、パブリックコメントを実施しながら「共生ビジョン」の策定を平成28年3月に予定しており、4月から連携事業が開始できるよう進めているところです。様々な課題がございますが、定住自立圏構想への取り組みがより良いものになるよう協議を継続し、こ

の地域に住んで良かったと思われる圏域づくりを進めてまいります。◎人口減少抑制と若者の地元定着に向けた取り組みをどのように進めていくのかお聞きします。

**市長** 新庄最上圏域での将来を考えますと、人口は急速に減少し、現在の行政サービスを維持するのも困難になるのではないかと危惧されます。そのためにも、それぞれの市町村では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、定住対策に向けた取り組みを進めようとしています。若者の地元定着ということですが、共生ビジョン懇談会においても、若者の定着、人材育成についての意見が出されており、その必要性は強く認識しているところです。この課題に対し、8市町村が連携して何ができるか、その方向性についてはこれからの議論となりま

す。そのため、各方面から意見をいただきながら合意の得られる有効策について取り組んでいきたいと考えております。



# 安心な介護・医療にするために



佐藤 悦子 議員

◎特養ホームの待機者は173名。新特養は80名分で建設したが、人手不足から40名しか入れない。介護職員の処遇改善のために、国の財政支援と県や市の独自支援が必要ではないか。

**市長** 介護保険事業は国の制度で実施されており、公費と保険料が財源となっています。今年度、新たな改正が行われ、サービス提供事業者が介護職員に対して処遇改善を行う内容となっていますが、その方法についてはサービス提供事業者が判断するものであり、全ての介護職員の賃金が一律に引き上げられる仕組みにはなっておりません。現在の制度下においては、介護職員に安定した給料を支給できるように介護報酬の引上げを行うためには公費、いわゆる税金が



保険料の増額をしなければならぬ状況となっておりますので、制度の趣旨をご理解願います。

◎県立病院の建て替えを機に、救命救急センターの設置や、心臓外科その他の科を増やし、新庄市で治療ができる体制にできないか。

**市長** 山形県医療統計における最上二次医療圏での住民の受診状況ですが、化学療法や放射線療法において1割以上が村山地域で治療を受けている状況です。市としては、今後も様々な機会を通し、最上地域で対応可能な医療体制の確保と三次医療など治療の精度や専門性の面から、他地域での治療との連携について要望してまいります。更に、適正受診やかかりつけ医を推進するとともに、健康寿命の延伸をめざし、国保特定健診やがん検診の受診向上対策など市民の健康づくりを推進してまいります。

## 学校教育・学力向上の手立ては



小嶋 富弥 議員

◎4月に行われた全国学力学習調査の当市の小中学校の結果を見ると、理科・国語は県の平均を上回っているが、算数・数学は国、県の平均より低い。地域の将来は人材育成の充実が大切。これらのための効果的施策をお伺いいたします。併せて、学校でのいじめ問題はあるのか、無いのか、不登校の現状についてもお伺いいたします。

**教育長** 今年度の調査の結果を踏まえ、市においては基礎的・基本的な学習内容の理解を土台としながら活用力の向上を図ることが必要と考えています。そのためには、子どもたちが学ぶ意欲や必要感をもって学習に取り組み、仲間とともに知恵を出し合いながら考えたり挑戦したりする授業づくりを行うことが大切です。

あり、学力向上対策の重点項目として捉えています。算数・数学については市の教育研究所の「授業づくり委員会」において、算数・数学に特化した研修の機会を設定したり、市が進める小中一貫教育の取り組みとして9年間を見通した学習活動を行ったりしながら、課題の解決に取り組んでまいります。

いじめについては、4月から7月までの調査において小中学校より27件の報告を受けております。いじめについてはどの学校でも起こり得るものであり早期発見と早期対応を重視しており、しっかりと解消することと再発しないことを徹底するように指導しております。児童生徒が楽しく学びつつ、生き生きとした学校生活を送ることができるよう取り組んでまいります。

また、不登校児童生徒は10月末現在で22人となっております。市の対応としては、教育相談員による相談活動及び、学習指導や社会体験活動等を行いながら学校復帰や高校進学への支援等を行っているほか、全中学校にスクールカウンセラーを配置するなどの教育環境整備を図っています。



## より使いやすいものにするために



遠藤 敏信 議員

◎山屋セミナーハウスは宿泊可能な研修施設として本市においては貴重な存在だ。しかし、浴槽が一つしかなく不便である。男女それぞれ独立したものが必要と思うが、どうか。

**教育長** 山屋セミナーハウスの浴室につきましては、男女共用の浴室を1つ設けてオープンいたしました。市内で研修会を行う大学生やスポ小や部活動の合宿など、男女が一緒に利用する団体も多く不便を感じさせていることは事実であります。現在、そうした利用者の声に応えるため入浴設備の機能強化を検討しております。また、現在休業している近隣温泉施設の温泉を活用した浴室の整備ができないかという点もあわせて検討を進めようとしているところです。



です。

◎学校教育現場での情報通信技術機器（ICT）の活用状況と教育的効果について伺いたい。またウイルスやセキュリティ対策はどうされているのか。

**教育長** 現在の活用状況ですが、教育用ノートパソコンと電子黒板などを使い、教科書と連動した教材を用いて授業を行っています。教科書と連動しているため挿絵や動画を活用することや、重要なところを強調して表示することができ、より理解度の深まる授業をすることができています。ウイルス対策については、パソコンにウイルス対策ソフトを導入し、最新の状態となるように設定しておりますが、ウイルスに感染した場合にも機器メンテナンス委託業者が対応できる体制をとっています。また、セキュリティ対策については、学校ごとに定期的に研修を実施し、情報管理の徹底を図っています。

# 常任委員会視察報告

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会委員長

高橋 富美子

当常任委員会は、10月27、28日に秋田県男鹿市及び由利本荘市に視察に行つてまいりました。

男鹿市においては、少子化などの理由から、地域の連帯感、共同・共助の意識が希薄となりつつある中で、社会情勢の変化や安全・安心な暮らしに適應できる地域コミュニティと自主防災組織を再構築する必要があり、として町内会交付金事業を施行したとのことでした。交付金は「自主防災活動事業」をはじめとする「地域コミュニティ支援交付金」と、「行政協力事務交付金」とで構成されており、事業が施行されたことにより現在147町内のうち138地区で自主防災組織を立ち上げるなど活発な活動を展開しています。本市の自主防災組織率は40%弱、少子高齢化地域の連帯感が希薄になりつつある今、市民にとつての安心・安全とは何かを一人ひとりが向き合う時ではないでしょうか。

秋田県は全国学力テストにおいてここ数年常にトップの成績をあげて

おり、学力向上のために、学校・地域ではどのような取り組みをされているのか由利本荘市を訪れました。西目小学校の授業を参観し、その中で取り組みの一つに授業スタイルの構築による授業改善と指導の充実がありました。板書の工夫による授業スタイルは全て統一されており、子どもたちの挙手や意見の発表の仕方などルールに従つて学習に取り組んでいる様子が伺えました。視察をとおし生活のリズムを整え、挨拶を交わしながら地域の中で伸び伸びと暮らしていることも、学力向上の要因ではないかと実感したところです。



# 行政視察報告

## 穆清会

### 1. 視察日程

平成27年10月27日（火）  
～28日（水）

### 2. 調査事項（視察先）

- ① 子育て支援の充実と定住促進策について（京都府 南丹市）
- ② 地方議員研究会セミナー「地域活性化・地域の課題解決」  
永田潤子大阪市立大学教授による講義を受講（京都府 京都市）

### 3. 参加議員（議席順）

小関 淳（代表）

遠藤 敏信 奥山 省三

### ■ 所感

京都府のほぼ中央に位置する南丹市は、4町が合併し平成18年に誕生した。

その南丹市でも、全国的な地方の現状と同様、人口の減少が続いている。平成25年に「南丹市定住促進行動計画推進本部」を立ち上げ、「定住促進アクションプラン」を作成分野を超えた施策を積極的に展開している。

南丹市には独自の子育て支援助成

制度が多数ある。例えば「子育て祝金」。出産時に5万円、「入学祝金」として小学校で3万円、中学校で4万円の助成。「子育て支援医療費助成制度」は高校卒業時までなど。助成金などの多寡だけが、移住・定住促進の要素であると主張するつもりはないが、住みたいまちを選び、その地で家庭を築き、子どもを産み育て、穏やかに暮らしていくためには、明確な「住む理由」が必要である。地域特性を活かし「消滅都市」回避に向け、危機感と覚悟を持つて独自の施策を市全体で進めていると感じた。そのためにも「安心して、このまちで暮らして下さい」という行政側の未来を見据えた姿勢や方向性が、定住する住民にとってどれだけ「住みよさ」に繋がるかを、しっかり認識しながら定住策を進める必要がある、と思った。



## 会派に属さない議員

佐藤 悦子

### 1. 研修日程

平成27年8月24日(月)  
～25日(火)

### 2. 研修事項

市町村議会議員研修会

(1) 人口減少問題と地方創生、講師：坂本誠（NPO法人人口ローカル・グランドデザイン理事）

(2) 共通番号制度の仕組みと自治体での取り組み、講師：白石孝（フライバシーアクション・共通番号 いろいろなネット）

(3) 介護保険の問題、講師：日下部 雅喜（大阪社会保険協議会）

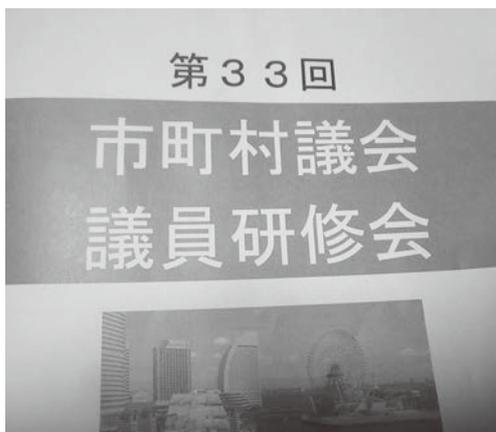
### 3. 所 感

①人口が減ったからと言って、自治体が消滅することはありえない。人口増加策ではなく、住んでいる人間を幸福にするための地域づくりこそが必要だ。

②共通番号制先進国の韓国・米国では、成りすまし犯罪が増加し、社会問題化している。共通番号制ではなく、分野別番号制度の整備を検討すべきだ。

③介護保険制度の目的は、高齢になっても尊厳が保持され、自立した日常生活に必要なサービスを給付することだ。現状は、重い家族の

介護負担・介護費用、特養ホーム待機者52万人と人材不足による介護崩壊だ。高齢者の保険料・利用料負担は、限界を超えている。介護報酬の引き下げは、事業所の撤退縮小・働く人の低賃金を招く。平成37年にむけて、「給付の重点化・効率化・負担の適正化」が進めば、地域の介護基盤は整備されない。「住民主体の互助」がそれに代わるなど現実には困難だ。国への制度改正の要望が重要だ。



叶内 恵子

### 1. 視察行程

平成27年7月16日(木)  
～17日(金)  
7月24日(金)  
11月9日(月)

### 2. 調査事項

- (1) 地方議員研究会セミナー
- ・地域活性化・地域課題解決など
- (2) 地方議会議員セミナー
- ・地域活性化のための議会の役割など
- (3) 元武雄市長樋渡啓祐氏講座「よりよい一般質問のために」

### 3. 所 感

平成7年以降、日本は地域政策を打ち出してきた。現在の地方創生政策は、国が補助金を付けることができる間に、地域が自立して持続可能な社会を作っていくことを促している。日本全体と特に地方の人口減少は止めることができない。しかし、新庄市を担う一人一人が楽しく幸福を感じて、ここで生きていくために、「内発的発展」を目指し官民一体となって同じビジョンを共有する必要があると実感した。



## 18歳選挙権付与について

「権利は欲しいが面倒くさい義務は嫌だ」この様な主張をする若者も存在する中、18歳以上に選挙権を付与することがいよいよ始まりそうです。先だって、新庄東高の生徒達と語り合う機会を頂きました。

「面倒くさそう。よくわからない。部活忙しいなど。」多数を占めたのがこの意見でした。確かに現段階では仕方のない事でしょうが、今後、理解して貰いたい事は、義務と権利の比較をしっかりととして、大人になるツールとして有効に役立てていく事です。

今後も若者達に大いに期待すると同時に議員一同もっと切磋琢磨していかねばと感じた貴重な時間でした。今後は学校側の主権者教育にも議員一同で注目していきたいと思えます。議会報編集委員 山科正仁



笑う門には福来る  
ほほえみがイイ人生を  
招くというぞ

この一年、  
元気で明るく、じゃ

## 山形県「市議会報研修会」 上山で開かる

平成27年11月3日、上市市を会場に議会報研修会が行われました。東北芸工大の准教授で広報部長でもある(株)東京片岡英彦事務所代表の片岡氏を講師に見やすい広報誌づくりについてのノウハウを学びました。市民の方々に興味を持って手にしていただき、編集した内容がより分かりやすく伝わるようなレイアウトや、どうやってPRしたらいいかなど。見栄えの良さはもちろん、内容の充実をめざして今後さらに努力しなければ、と編集委員一同改めて意を決したところです。



## 未来に羽ばたく 新年市民の集い

「未来に羽ばたく新年市民の集い」が1月4日、280名の市民の参加のもと市民プラザで開催されました。長年の「尽力に感謝する」ということで、小野周一、遠藤敏信、奥山省三の3議員が「市政発展に尽力」、小嶋富弥議員が新庄山車連盟の理事などを務め「新庄まつりの振興に尽力」したとして「あじさい感謝」の表彰を受けました。さらに、新田道尋議員が20年以上勤めたということで自治功労表彰されたことが紹介されました。今後益々の活躍を！



12月8日の午前中、萩野学園の6年生（引率の先生方を含め44名）が傍聴に訪れました。一般質問のやり取りを時にうなずいたりしながら、熱心にメモしていました。

### 3月定例会の予定

3月3日(木)	開会
4日(金)	一般質問
5日(土)	休会
6日(日)	休会
7日(月)	一般質問
8日(火)	常任委員会
9日(水)	常任委員会
10日(木)	予算特別委員会
11日(金)	予算特別委員会
12日(土)	休会
13日(日)	休会
14日(月)	予算特別委員会
15日(火)	休会
16日(水)	休会
17日(木)	最終日

請願締切 2月22日(月)までとなっています。  
※一般質問者数により若干日程が変わります。

### あどがき



今年の冬は、ここ数年の大雪より少し開放され、雪の少ない正月を迎え、過ごすことができている。雪国に生きる宿命とはいえ、先人たちは雪に耐え、慣れ、そして克えてきました。雪が無ければ新庄も暮らしやすく良いところだと言いう人も、雪があつてこそ新庄だという人も結局は新庄が好きなのだと思えます。初雪のころの新庄は時として幻想的でもあります。また冬晴れの夜の星座はまばゆいばかりにその存在を知らしめてくれます。

そして雪解けのころの新庄は光溢れ、輝きを持ってやがてやってくる春の訪れを知らせてくれます。12月議会に、萩野学園の6年生が傍聴に来てくれました。一般質問の討議をとくにメモを取りながら真剣なまなざしで傍聴、見学をしてくれました。やがてこの子どもたちにも、冬の厳しさを乗り越えたあとの大きな春の訪れのあることを祈ります。

また今議会においては10人の議員が一般質問を行い、市民生活の安寧と、更なる向上についての様々な角度からの討議が行われました。そのようなこともあり議会編集にも少しの時間を要しました。まだまだ寒い日々が続きます。ご自愛をお祈りいたします。

議会報編集委員 佐藤 義一

